



わか ちから み らい か  
\\ 若い力がふるさとの未来を変える! //

かぶ しき がい しゃ リヴ  
株式会社 Rev.とよね

とよねむら かつせい か  
豊根村の活性化

所在地 豊根村下黒川字ケゴヤ9番・9番の2合併地 TEL 050-5444-3471



ちい むら  
小さな村での  
おお ちよう せん  
大きな挑戦

あい ち けん ほく とう ぶ なが の けん しず お かけん  
愛知県の北東部、長野県と静岡県との  
けん ざい い ち とよ ね むら じん こう せん  
県境に位置する豊根村は、人口が千  
にん み ちい むら ぶく  
人に満たないとでも小さな村です。特に  
こ とも わか もの かず ねん ねん へ  
子どもや若者たちの数が年々減っており、  
ちい き か そ か と おお  
地域の過疎化を止めることが大きな  
か だい とよ ね むら  
課題になっています。そんな豊根村で、  
ちい き かつせい か むく ぎ かい しゃ  
地域の活性化を目的にした会社をゼロ  
から たち あげ、ふる さとの 未来 を 変え よう  
と 奮闘 する 20 代 の 夫 妻 が います。それ  
が「株式会社 Rev.とよね」を運営する  
く る み み お よし た ろう ふ たり  
胡桃珠音さんと芳太郎さんのお二人です。



き ぎょう けつ こん  
起業のきっかけは結婚

そう ぎょう しゃ しゃ ちょう の 胡桃 珠 音 さん は、 結 婚 を  
創 業 者 で 社 長 の 胡桃 珠 音 さん は、 結 婚 を  
機 に 名 古 屋 から 豊 根 村 に 移 住 し て き ま し  
た。 珠 音 さん は、 幼 い こ ろ から 家 族 で 何 度  
も 豊 根 村 に 遊 び に 来 る な ど、 村 へ の 愛 着  
を ず つ と 持 っ て い ま し た が、 い ざ 自 分 が 一 生  
暮 ら す 場 所 と し て 過 疎 の 現 状 を 目 の 当 たり  
に し た 時 に、「 30 年 後、 40 年 後 に 豊 根  
村 は どう な っ て し ま う の だ ろ う」と 不 安 に  
な っ た そ う で す。 そ な 村 の 未 来 を 変 え る  
た め に、 人 口 を 増 や す た め に は、 若 者 が 働  
き たい と 思 っ る 会 社 や 仕 事 を 増 や す こ と が  
先 決 だ と 考 え、「 ない なら 自 分 で 作 る」と 持  
ち 前 の 行 動 力 で 会 社 を 立 ち 上 げ ま し た。

たいひょうとりしめしやく  
代表取締役の  
く る み み お  
胡桃珠音さんと  
あ べ と し た ろ う  
夫の芳太郎さん





豊根村の魅力が全国に発信!

豊根村をもっと元気で活力ある場所にするためにまず目をつけたのが、地元で昔からソウルフードとして食され愛されてきた味つけ鶏肉の「廃鶏」です。美味しいけれど、村内でしか食べることのできなかったこの隠れた名物のパッケージをデザインし、冷凍保存することで、お土産にも、発送もできるように商品化。インターネットや各地のイベントで、豊根村の「新名物」として販売。その美味しさとともに豊根村の魅力を発信しています。

パッケージも可愛くして買ひやすく!

廃鶏ってなに?

卵を産まなくなった親鶏は、食わずに「廃棄」される鶏として「廃鶏」と呼ばれてきました。実際は、独特の旨味と歯ごたえが美味しい鶏肉で、豊根村では独自のタレに漬け込み、「味つけ廃鶏」として昔から親しまれてきました。



物産展やネット通販で全国の人たちに豊根の味を届けています!



ふるさとのお味を守りたい!

夫である芳太郎さんの実家は、豊根村で長らく商店を営み、味つけ廃鶏の製造販売も代々行ってきました。過疎化の影響で商店の継続を断念することになりましたが、ソウルフードの味だけは絶対に守ると、廃鶏の商品化をすすめ、販路の拡大に奮闘しています!

しん じ ぎょう  
**新事業は**

**アパレルブランド!**

Rev.とよねが次に仕掛ける豊根  
村活性化事業は、アパレルブラン  
ド「和\*輪-WARIN-」の立ち上げ  
です。現代ファッションに日本の伝  
統的な和柄生地を融合させた服  
のデザインは、全て珠音さん自らが  
手掛けました。この新事業も、豊根  
の子どもたちが興味を持ってくれ  
る、憧れてくれる仕事を作りたいと  
いう想いで始めたチャレンジです。

わ だんどう ひと  
和の伝統と、人の  
わ  
輪をコンセプトにし  
たブランド名とロゴ

**和\*輪**  
-WARIN-



でんとうてき わがらきじ  
伝統的な和柄生地をさり  
げなく使う点がポイント!



なんびやく きじ なか  
何百とある生地の中からイメージに  
あ 合ったものを探すのは大変です  
うつく がら  
が、美しい柄にわくわくします!



じつじょうに服を製作  
してもらうメーカー  
の担当者と何度も  
打ち合わせを行い  
イメージを固めて  
いきます!

ふくしやく せんもん ちしき まった み お おも う  
服飾の専門知識は全くなかった珠音さん。思い浮かん  
だデザインを描き起こすところから始め、アパレルメー  
カーや生地を扱う問屋の担当者、周囲の人たちの力を  
かりて、最終的に思い描いたイメージの服を形にしまし  
た。販売は2023年3月を予定しているのでお楽しみに!

## 豊根村の子どもたちと

## 未来のビジョンを共有する

Rev.とよねの活動は、外へ向けての情報発信だけではなく、豊根村に住む人々、特にこれから社会へ出ていく子どもたちに向けて、事業の目的や意義、豊根村の未来をどう変えていきたいかを伝えることも大切な仕事です。豊根村役場や商工会が開催するワークショップや講座でこれからのビジョンを発信しています。



### 地元小学生に聞きました!

豊根で新しい会社を作ることは難しいと思っていたけど、Rev.とよねのお二人はそれを実現させて、ファッションのブランドも立ち上げて本当にすごい。会社って自分で作れるものなんだと知りました。

胡桃さんご夫妻 から みんなに

メッセージ

## MESSAGE

### ふるさとで働くことも選択肢の一つに

都会でも田舎でも、今自分がいる場所を少しでも良くしよう頑張っている人たちがいます。地域のことをもっとよく知ってもらえば、魅力的な人や会社、仕事に出会えるはず。みんながいつか大人になって、社会に出て行く時、ふるさとで働くことが選択肢の一つになったらうれしいです。

